

NO. 71(令和6年11月22日発行)



社会福祉法人
愛の鈴
AINO-SUZU

愛の鈴通信



町田おかしの家
町田市障がい者スポーツ大会に参加
して元気に身体を動かしました

目次

- ・ 理事長のことば
- ・ 町田おかしの家 便り
- ・ ケアホーム愛の鈴 便り
- ・ 法人本部報告
- ・ 町田おかしの家 商品ラインナップ
- ・ アクセスマップ
- ・ 職員募集 編集後記

理事長のことば

社会福祉法人愛の鈴
理事長 植草三樹男

「何度でも起こしていいわよ」

妻の光子は毎晩、朝方まで、何度も私に笛で起こされます。
なぜなら、おしっこがしたくなるんです。
オムツをしても、管をつけていても、
どーしてもムズムズして知らない間に、
それを取り外してしまうのです。

そうなると大惨事。
そこら中におしっこがとびちります。
ベッドがぬれて、床が汚れ、それを拭いて、洗濯をして、、、
それが毎日のことです。
迷惑をかけたくないな、と思うと妻に声をかけるのも
躊躇してしまうこともあります。

ある日、
「これからいつでも何度でもおしっこしてもいいよ。神様がそういつたから」
妻が言いました。
「え??本当にいいの??」

その日の夜から、笛を吹いて妻を起こすと、
「OK!!起きているからだいじょうぶ!」
と明るく、すぐに起きて対処してくれます。
何度でも起きてくれます。
すごく、すごく、うれしい。ありがたい。
本来なら、おしっこの世話をするのも
イヤなことだろうに、、、

それから、
「妻に迷惑をかけてもいいな、、、」
そんな風に思えるようになってきました。
妻は、私の笛をきいて今もすぐに起きてお世話をしてくれています。

本当にありがたいです。

2024年10月29日

町田おかしの家だより

作業の風景



今年の夏は受注作業が多く入り、精力的に作業を進めました。取引先が増えて、自主製品の好調な売れ行きです。基板事業は利用者さんが作業の集中し作業室が熱気を感じられるようになっていきます。（まもなく年末の大掃除シーズンですが使用済パソコンのご提供をお願いします。）

行事（夏ゆず打ち上げ、お楽しみ旅行）



8月の繁忙期が終わり、夏ゆず打ち上げを開催しました。今年もカラオケ大会を開催し、その後は会食をしました。夏の暑さを忘れて大いに盛り上がりました。



10月にお楽しみ旅行に行きました。栃木県を回り、元請企業の曙フーズ株式会社の工場を見学させていただきました。

吉村様からメロンの差し入れを頂きました。いつもお心遣いを頂き感謝申し上げます。

曙フーズの皆様には見学でお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

（以上の行事の開催では愛の鈴後援会にご協力いただきました。ありがとうございました。）

レクリエーション



6月はラーメン作りをしました。お好みの味のラーメンを作って、おなかを満たしました。

9月は草木染めをしました。今年はバッグづくりをしました。藍葉染めで模様を作り、クルミの色で地を染め上げました。

ケアホーム愛の鈴

歓迎会



新たにご入居されたJ
Oさんの歓迎会を開催
しました。



5月 SFさん

誕生日会



8月 HSさん



9月 RYさん



10月 GRさん

HAPPY
BIRTHDAY

法人本部報告

「理事会 報告」

令和6年度 第1回（令和6年5月28日 午後開催）

- 議案
- ・ 令和5年度 事業報告書について
 - ・ 令和5年度 決算報告について
 - ・ 理事長報酬について
 - ・ 給与規程の改正について（処遇改善手当、夜勤手当）
 - ・ 永年勤続報奨金について
 - ・ 特別昇給者について
 - ・ 評議員会招集について

その他 ・ 法人本部及び町田おかしの家並びにケアホーム愛の鈴（運営状況報告 他）

令和6年度 第2回（令和6年10月29日 午後開催）

- 議案
- ・ 会計報告と補正予算について
 - ・ 居住支援特別手当支給に関わる給与規程の改正について
 - ・ セクシャルハラスメント防止規程廃止、及びハラスメント防止規程の新設について
 - ・ ケアホーム愛の鈴運営規程の改正について
 - ・ 法人感染予防指針の作成について
 - ・ 評議員会の召集の件

その他 ・ 法人本部及び町田おかしの家並びにケアホーム愛の鈴（運営状況報告 他）

「ご寄付受入状況報告」

（令和6年4月1日から令和6年9月30日現在）

（敬称略 50音順）

ご寄付・ご献品は、法人及び事業所利用者のためにありがたく使用させていただきます。

<ご寄付（法人運営資金として）>

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| ・ 浅見源司郎 | ・ 伊藤美保子 | ・ 岩城弥生 | ・ 岩熊幸織 |
| ・ 植草三樹男 | ・ 宇佐美より子 | ・ 衛藤憲一 | ・ 衛藤喜代 |
| ・ 加藤武仁 | ・ 加藤雅子 | ・ 久保田民子 | ・ 齋藤謹也 |
| ・ 斉之平伸一 | ・ 阪千賀子 | ・ 須賀みど里 | ・ 田中和子 |
| ・ 田邊みよ子 | ・ 柁津都子 | ・ 坂東道子 | ・ 森高登志夫 |
-
- ・ 吉田恵子
 - ・ 有限会社河西工業 代表取締役 川西誠男
 - ・ (株)グランヒル
 - ・ (株)フォー・ズィー・コーポレーション
 - ・ 宗教法人大和キリスト教会大和カルバリーチャペル 牧師 大川従道

皆様の当法人及び事業所への温かな見守りとご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

*当法人では、引き続き、皆様からのご寄付を募っております。

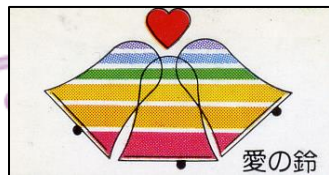
下記銀行口座へお振込みをいただくと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お振込先：みずほ銀行町田支店（普）1064633

社会福祉法人愛の鈴 理事 植草三樹男

町田おかしの家

～ 販売商品 ～



各種 1袋
120円

国産もち米を使用した

人気のおかし！

< 和シリーズ >



しょうゆ



アーモンド



しお



あまから

※下記箱詰め（15袋箱入り・18袋箱入り）と、5種袋詰め承ります。

プチあんじゅ・こいそ豆からもお選び頂けます



15袋箱入り 2000円

18袋箱入り 2360円



5種袋詰め
700円

一口サイズの
あんドーナツ



味わい豊かな豆菓子



1袋 各120円

日高産天然物



日高昆布 800円

こだわりの逸品

有明産



やきのり



こちらのQRコードから、町田おかしの家ホームページの商品紹介にアクセスできます。

①



②



③



～香りと彩りの静岡県産お茶～

① 粉末緑茶 700円

② 煎茶 850円

③ 上煎茶 1000円

※①～③の中から2袋入り・3袋入りの箱詰めも承ります。

法人メディア

法人ウェブサイト

<http://aino-suzu.jp>

法人の最新情報や情報公開をしています。



愛の鈴ブログ

<https://ameblo.jp/aino-suzu/>

施設のちょっとした話題を随時更新しています。



アクセスマップ

就労継続支援B型 町田おかしの家

〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

電話042-792-9773 FAX042-792-9767

E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp

小田急・JR 町田駅から 神奈中バス（小山田桜台行）「町田工業高校前」バス停下車 徒歩10分

共同生活援助 ケアホーム愛の鈴

〒194-0038 東京都町田市根岸2-28-14

電話042-794-4120・4121 FAX042-794-4122

E-mail care.home@aino-suzu.jp

小田急・JR 町田駅から 神奈中バス（野津田車庫行）（橋本駅北口行）等で「下根岸」バス停下車

徒歩5分



愛の鈴通信を読んだご感想等をお聞かせください。

※ご感想等ございましたら以下の宛先までお送りください。また、広報の送付先の変更や中止、送付方法（紙面・デジタル）の変更がございましたらお知らせ下さい。



<宛先>

住所：〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

FAX: 042-792-9767 (町田おかしの家)

042-794-4122 (ケアホーム愛の鈴)

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/3/>

※左のQRコードからお問合せフォームにアクセスできます

ケアホーム愛の鈴では職員を募集しています。詳細は法人ウェブサイトの職員募集ページをご覧ください。くか、各事業所までお問合せください。

<http://aino-suzu.jp/publics/index/11/>



人 事

令和6年10月15日採用 町田おかしの家 澤井 佳子 (常勤)

令和6年 8月15日退職 町田おかしの家 桜井 花

編 集 後 記

福祉現場でも利用者活動や支援の場でのデジタル技術の導入は進められていますが、当法人でも取組みを模索しています。賛否はあるのかもしれませんが、いわゆるDX化などに対応する事が社会全体で求められています。

最近のデジタル機器に実際に触ってみるとわかるのですが、アプリがとても使いやすくなっています。たとえばショート動画などもスマホ一台で音楽やナレーションを付けて短時間で製作ができるようになってきました。かつては専門の会社をお願いして作っていたようなコンテンツが、プロでなくとも短時間でコストをかけずに作れるようになってきました。

一方で、利用者さんもお手のもので、スマートフォンでプロの漫画家のようなイラストを描く方もいらっしゃいます。また重度の障がいを持たれている方でも、アプリや視線入力機器などによりこれまで意思や言葉が理解しにくかった利用者とのコミュニケーションに活かせるようになってきたというのが近年の動向です。

新しい技術によって支援の質の向上や業務の効率化を目指す一方で、それ以上にそうした技術を活用しながらもそれに振り回されず、利用者さん一人一人の輝きを大切できる支援を追求し、適正な法人経営を実現していくことが目的であることに変わりはありません。人間の側が理念や制度上の要請を見失わないように肝に命じる必要があります。

なお、近日中に法人ウェブサイト（ホームページ）の一部リニューアルを予定しています。制作会社のご協力もいただき感性的なデザインにすることができました。本誌の内容も含めてですが、法人の活動全体を気持ちをこめたものにしていければと考えています。ぜひ皆様からも忌憚のないご意見などをうかがえればと存じますのでよろしくお願いいたします。

原子